

保育の提供量（利用定員）に対する整備実績及び利用実績

資料 2

○保育所等の整備による提供量の確保については、児童人口の減少に伴う保育所利用児童数の減少と併せて、現に、既存の保育所等において0歳から5歳のいずれの年齢においても、欠員が生じている状況であること鑑み、新規の基盤整備は行わず、既存施設の受け入れ員数の調整等により、保育需要に対応する旨を計画に記載した。

☞令和7年4月1日時点においても、0歳から5歳いずれの年齢においても定員に対して欠員が生じており、欠員数は増加している傾向がある。特に、従来待機児童の過半数を占めていた1歳児について、令和6年度、7年度ともに50名前後の定員に対する欠員が生じている状況がある。

※令和6年度当初申請者数…697人、入所決定者数573人
令和7年度当初申請者数…612人、入所決定者数527人

待機児童数…3人

待機児童数…2人（見込み）

各年度4月1日 基盤整備		令和6年（第二期子ども・子育て支援事業計画）			令和7年（第一期こども計画）		
		小規模 保育事業所	保育所	認定 こども園	小規模 保育事業所	保育所	認定 こども園
計画	施設数	25	18	5	25	18	4
	定員数	455	1,537	350	456	1,507	270
実績	施設数	25	18	4	25	18	4
	定員数	456	1,507	270	456	1,507	270
計画比	施設数	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	定員数	100.2%	98.0%	77.1%	100.0%	100.0%	100.0%

令和6年度整備状況をもって、こども計画（第三期子ども・子育て支援事業計画包含）における整備計画としたため、令和6年度実績から変動はなく、計画通りの整備状況となっている。

一方で、提供量（整備状況）に対して、少子化の進行等の状況から保育需要が減少傾向にあり、特に小規模保育事業所等において、定員に対する欠員が多く生じている状況がある。

各年度4月1日 利用状況		令和6年			令和7年		
		小規模 保育事業所	保育所	認定 こども園	小規模 保育事業所	保育所	認定 こども園
実績	利用者数	372	1,412	258	325	1,392	261
	利用割合	81.6%	93.7%	95.6%	71.3%	92.4%	96.7%